

令和5年度 第2回学校運営協議会会議録

記録者：副校長 西里 孝義
事務長 佐々木孝幸

1 日 時 令和5年11月22日（水）14：00～15：30

2 場 所 大会議室

3 出席者 7名／15名（学校運営協議会委員）

＜昨年度からの継続委員＞

澤 藤 耕 平 様（退職校長会和賀会事務局長）

軽 石 達 也 様（トヨタ紡織東北（株））

＜新規委員＞

加 藤 建 一 様（北上市立南中学校長）

昆 慶太郎 様（PTA代表（株）昭和管工）

＜学 校＞

校 長 千 葉 勝 幸

副校長 西 里 孝 義

事務長 佐々木 孝 幸

4 次第（進行：副校長）開会の前に事前に配布資料した進路関係資料の訂正があります。

○開式のことば（副校長）8名の委員の方が所用のため欠席しております。

（1）校長挨拶

平日にもかかわらず、お忙しい中、皆様にご出席いただきましてありがとうございます。日頃本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

半年が経過しました。良い意味で生徒の様子が変化しています。コロナが5類に移行して、マスクなしのあいさつ、文化祭、大会等その他行事が実施されております。いろいろ御意見をいただきたいと思えます。前回の要望の話から、バスの通学補助の件について、新しいこととして、下宿の補助など案があったが、できれば市内の高校生への補助をお願いした。具体的な金額として、20万から30万程度、現実には厳しい。次に7月以降の学校の様子について、

①全体的に後半に向けて、欠席連絡をQRコード等ICT活用を進めます。また、教務・情報等ペーパーレス化を進めている。

② いじめ問題等夏休み明け以降落ち着いた。先生方の初期対応が良く落ち着いた生活を送っている。

総合学科課・・・一人1台に対応して、卒業研究等で活用している。

保健・相談・・・学年・担任と連携し、早期対応をしっかりとやっている。

農場課・・・農地の貸出や小学校等の連携など地域と繋がりがある。

進路指導課・・・発達障害生徒多数いるので、事前に情報交換をするなど努力している。

令和7年度の入試について、調査書6割学力4割としています。国語、数学の点数を高めにしていきます。

また、地域との連携を図るよう取り組んでいる。

（議長：澤藤様）

校長先生から7月からの学校の様子について説明いただきました。本日は出席者少数ですが、ご質問、ご意見等お願いいたします。

(軽石様)

息子が大学1年生ですが、友人で就職した生徒4・5人が退職している。会社が合わない、精神的に弱くうつ状態、弊社の仕事は、夏40度以上の中で仕事をする。職場の状況を分かってきて欲しい。

(校長)

昭和を生きた我々にとっては、理解不能で大人が関わって卒業してきた。精神的に弱い生徒は、幼いと感じる。

(議長：澤藤様)

できるだけ褒める。学校では長所を褒め、良いところを書く。子供たちも叱られなれていない。

(加藤様)

授業を拝見させていただきました。とても落ち着いていて、楽しみながら、タブレットを普通に活用している。そういう時代なんだと感じた。

イチローさんの記事で、「今の若者は、厳しい指導をしていただけない。今それをやるとすぐハラスメントとなるから成長ができていない。自己責任となり自力でやらなければならないから酷だ。」とあった。

社会的にハラスメントとされることが大変と思われている。

特殊支援学級、中学校の段階から、自分に合った進路のマッチングが必要と感じています。最後は家庭で決めるので、高校との情報交換はありがたい。

(校長)

4月から悩んでいた生徒11名(1年次～3年次)については、単位制・通信制の高等学校への進路変更があった。生徒にとって支援が十分できる環境を選択することがよいと思います。高校には特別支援学級はない、教員に特別支援コーディネーターはいるが、常時支援クラスを持っているわけではない。小・中と制度が違うので、高校入学後、小・中と同等の支援を求められても困る。

(昆様)

高卒離職率が気になる。本人の意思を確認しながら手厚く育ててきたつもりだが、適応障害とのことで今月末で退職予定の卒業生がいる。新卒に求人を出せない状況だ。①打たれ弱い②コミュニケーション不足③他人と関わる機会が不足④年齢層が違うので、扱いづらい。⑤連絡手段も返信もない。など大変だ。

会社見学は1日でもいいのか、インターンシップの在り方など疑問あり。

また、県交通に連絡し、バス補助について確認したが、和賀地区は車で送迎、バスが安定していない。

・就職後の追跡調査はどうなってるか?・・・個人情報の関係で、実施していない。卒業生の評価はいいようだ。以前は、来校して、話をしていた。

(議長：澤藤様)

私も授業を見せていただきました。落ち着いていた。校外学習の事前準備等、先生方が興味関心を引きつける授業が大切と思いました。

特別支援を必要とする生徒への進路先はどうなっているか。障害のある子供が入学することを前提に指導をすることが理想ではある。入学実績を見て高校を選んでいる

・職場では、コミュニケーション能力不足にどう対応しているか。

(軽石様)

若者の考え方を聞いて、あわせて対応している。

(昆様)

不安で、会話するにも踏み込んでいけない。(セクハラ、パワハラなど)スマホ使用で、個人的にどこまで話をしたら良いのか。

(加藤様)

話し合い学習は上手だが、異年齢と話す機会が少ないので、職場でも若い先生と話すのが困難である。

ボランティア等を説明して地域に出て、人とふれあう機会を増やすなど対策必要か。

今後、益々普通高校を選択される。翔南はそのような生徒を受け入れた場合、どのような対応になるのか。

保護者が理解した上で入学できるようにできたらよい。

(議長：澤藤様)

以上、時間となりましたので、これで議長の任を終わります。ご協力ありがとうございました。

事務局

○閉式のことば（副校長）